

8割生活のススメ

2023年10月号

●"てまえどり"で食品ロス対策

平成27年9月に国際連合で採択された「持続可能な開発目標」(SDGs)のターゲットの1つに、2030年までに小売・消費レベルにおける世界全体の一人当たりの食品廃棄物を半減させることが盛り込まれるなど、国際的な食品ロス削減の機運が近年高まっています。

「てまえどり」とは、消費者が食品を購入してすぐに食べる場合に、商品棚の手前にある販売期限の迫った商品を積極的に選ぶ行動で、販売期限が過ぎて廃棄されることによる食品ロスを削減する効果が期待されています。

●出典：農林水産省ホームページ



●節水を習慣化しましょう

私たちは普段、1日に一人で約300リットル(2リットルペットボトル150本分)の水を使用しています。暮らしに欠くことのできない水を大切に使うため、普段から節水を意識した生活をしましょう。

- ・洗濯の回数を減らし、まとめて洗いましょう。
- ・洗髪の際はシャワーの水を流したままにしない。
- ・油污れの食器は紙で油分を拭き取ってから洗う。
- ・野菜などを洗った水は樹木などへの散水に利用を。

●出典：独立行政法人水資源機構

●スマートメーターで見える化を

「スマートメーター」は、電気やガスなどの計量器に、遠隔検針(インターバル検針)、遠隔開閉、計測データの収集発信機能を有する計測器のことです。

スマートメーター導入によって、ウェブサイトなどを通じた電力等の使用状況や料金などの見える化や、計測データに基づく省エネ診断サービスなどが可能になり、これによる省エネルギー効果が期待できます。

●出典：経済産業省資源エネルギー庁



杵築市は2013年度比2030年の温室効果ガス削減量を46%に掲げました。2019年にはすでに26%削減が実現できているので、残る2割削減を、生活の8割相当を目安に取り組むことで実現していきます。